

2023年3月期（2022年度） 第1四半期
決算説明資料

2022年8月

東証スタンダード市場：3423

 株式会社 **エスイー**

1. 2022年度第1四半期 連結決算実績
2. セグメント別の状況

1. 2022年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

第1四半期連結決算実績サマリー（前年同期比）

サマリー 前年同期比～増収減益

国内土木市場は引き続き好環境も、建設用資機材の製造・販売事業は前年同期のスポット案件の剥落を主因に大幅減益

（単位：百万円）

	中期経営計画2020-2022			2022年度と2021年度 増減（増減率）	
	2020年度 1Q	2021年度 1Q	2022年度 1Q		
売上高	4,885	5,549	5,608	+58	(+1.1%)
営業利益 (対売上高比)	156 (3.2%)	563 (10.2%)	213 (3.8%)	▲349 (▲6.3%)	(▲62.1%)
経常利益 (対売上高比)	161 (3.3%)	578 (10.4%)	222 (4.0%)	▲355 (▲6.5%)	(▲61.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (対売上高比)	81 (1.7%)	358 (6.5%)	142 (2.5%)	▲215 (▲3.9%)	(▲60.2%)

・売上高

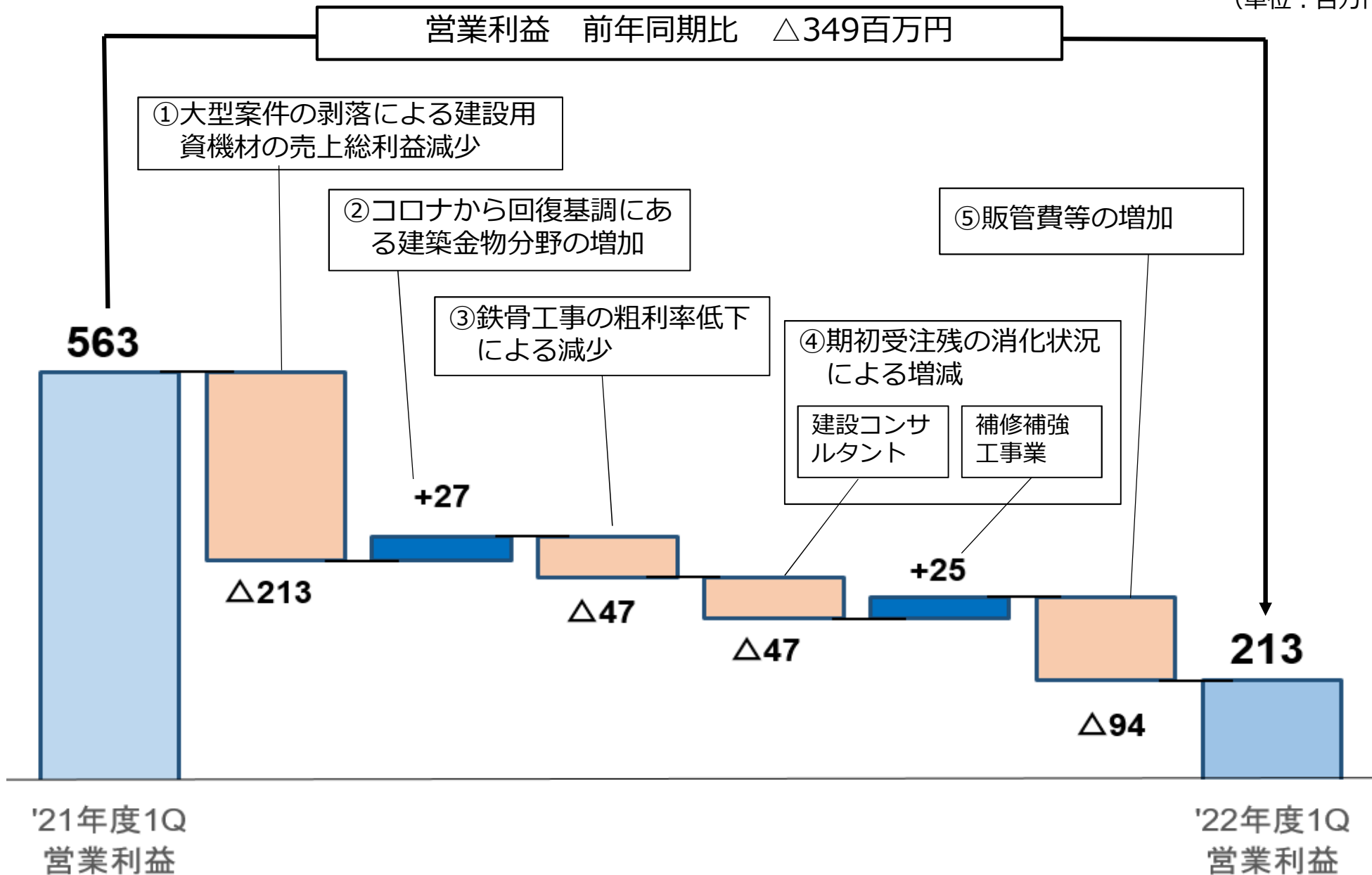
- 建設用資機材の製造販売において、国内で前年同期にあったスポット案件が剥落。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んでいた建築金物分野が回復。海外輸出・建設コンサルタント事業にはコロナの影響が残る。
- 鉄骨工事、補修補強工事業は期初受注残の消化が進捗。
- その結果、全体では前年同期比58百万円の増収。

・利益

- 上記スポット案件の剥落、原材料価格の高騰影響、人件費等の増加により、経常利益は前年同期比△355百万円の大幅減益となった。

第1四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減） 株式会社 エスイー

（単位：百万円）



第1四半期連結決算実績サマリー(公表予想比)

【売上高】



・売上高

- 建設用資機材において前年同期にあった大型案件が剥落したが建築・補修補強でカバー、1Qとしては昨年に続き好調な滑り出し。
- 2Qまでは、前年同期の大型案件の剥落影響が残る見込み。

【経常利益】



・利益

- 建設用資機材における前年同期にあった大型案件の利益額減少の影響が大きく、前年同期比で利益額、利益率とも減少。
- 原材料価格の高騰への対応としての販売価格への転嫁は、期末に向けて適用率は漸増する見込み。
- 公表予想値に対する進捗は、前期実績と比較すると低いが、前々期より良好に推移。

連結貸借対照表サマリー

サマリー

配当金支払いにより3月末比純資産減少。自己資本比率は微増・D/Eレシオ低下。

(単位：百万円)

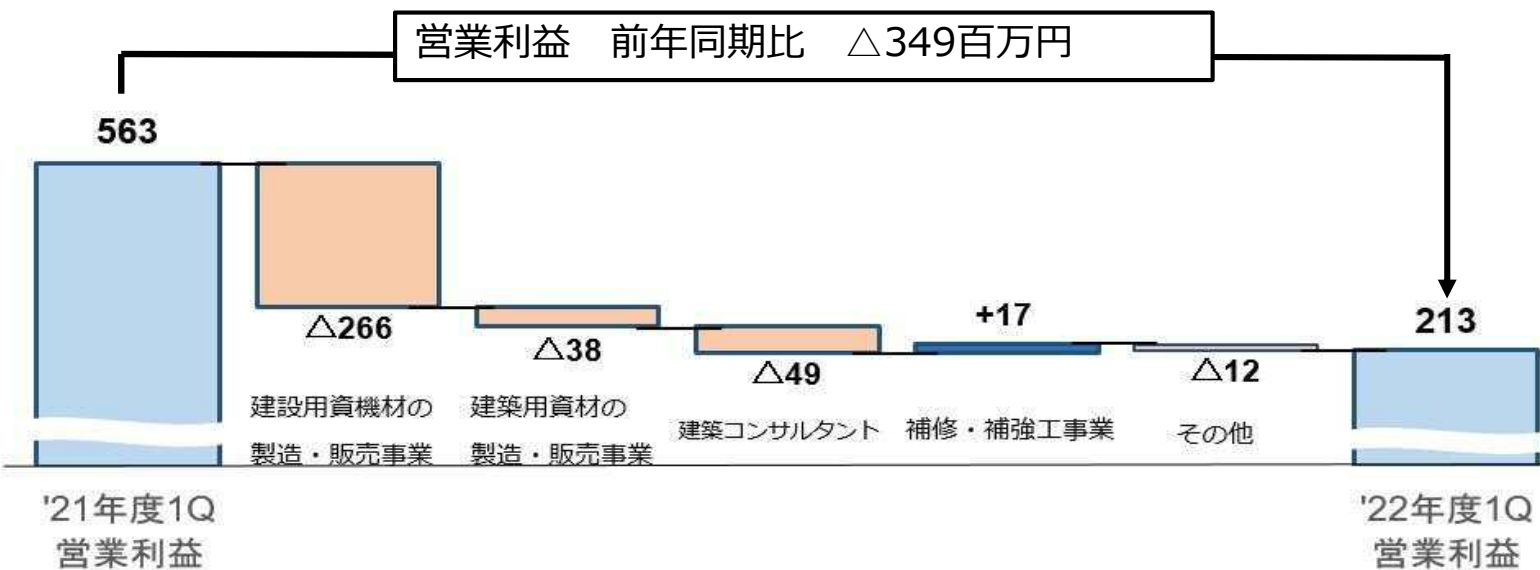
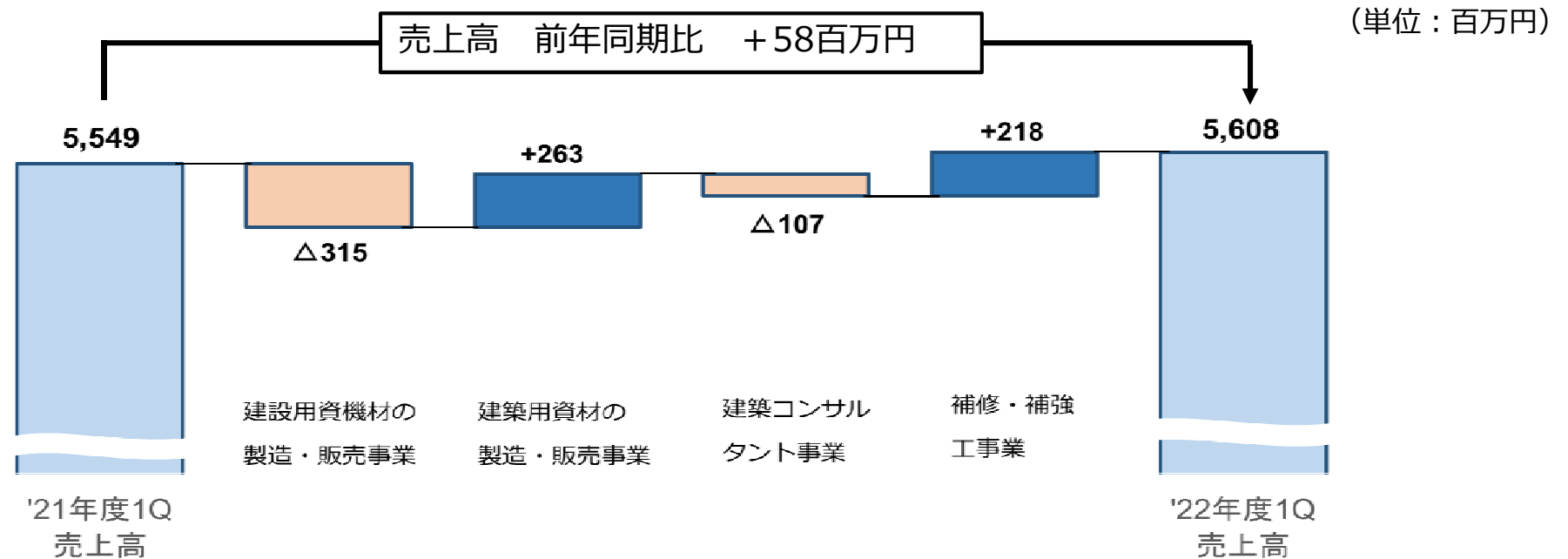
資産			負債		
2022年 3月末	2022年 6月末	増減	2022年 3月末	2022年 6月末	増減
23,665	22,755	(主な内訳)	13,711	13,088	(主な内訳)
		△674 現金及び預金			△471 未払法人税等
		△292 受取手形、売掛金及び契約資産			△342 借入金
		+202 原材料及び貯蔵品			+161 その他流動負債
+143 商品及び製品	△334 その他流動資産	△622	純資産		
		△909	2022年 3月末	2022年 6月末	増減
			9,953	9,667	(主な内訳)
					+142 親会社株主帰属四半期純利益
					△421 株主配当金支払い
					△286

		2022年3月末	2022年6月末	増減
運転資本	(百万円)	4,253	4,172	△81
有利子負債	(百万円)	4,713	4,353	△360
純資産	(百万円)	9,953	9,667	△286
自己資本比率	(%)	41.9	42.3	+0.4
D/Eレシオ	(倍)	0.48	0.45	△0.02

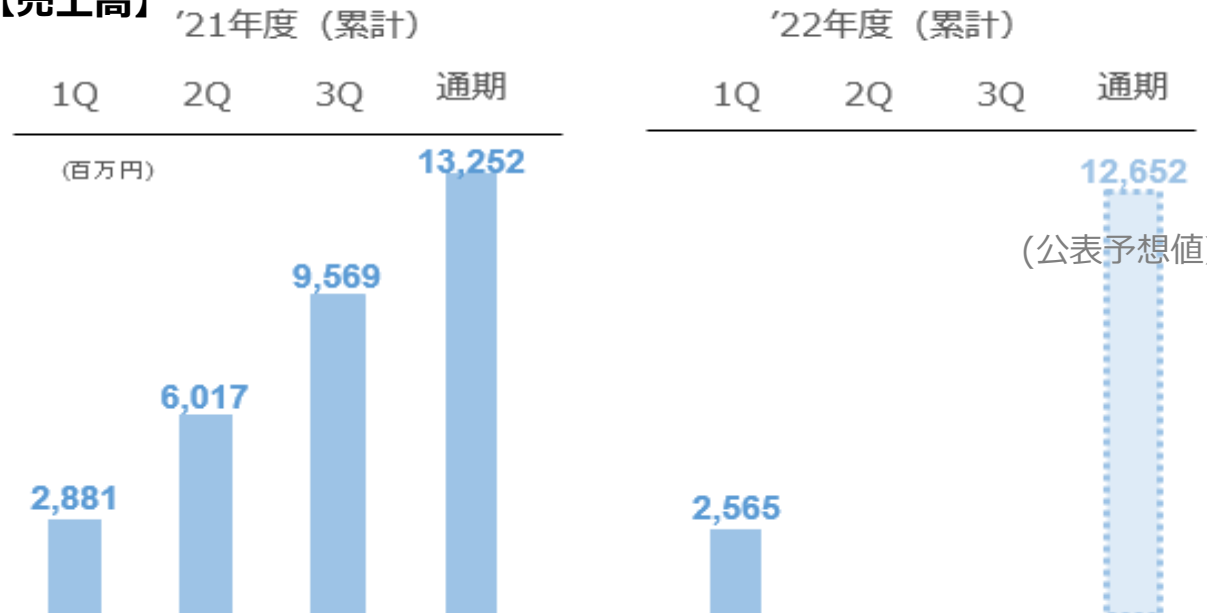
1. 2022年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

セグメント別増減 (前年同期比)



【売上高】



○前年同期比～減収減益

- ・ **売上高** (前年同期比△11.0%)
 - 前年同期にあった大型かつ高収益のスポット案件が剥落
 - 台風19号災害工事に関連したコンクリートブロック特需の終息

【営業利益】



- ・ **利益** (前年同期比△67.5%)

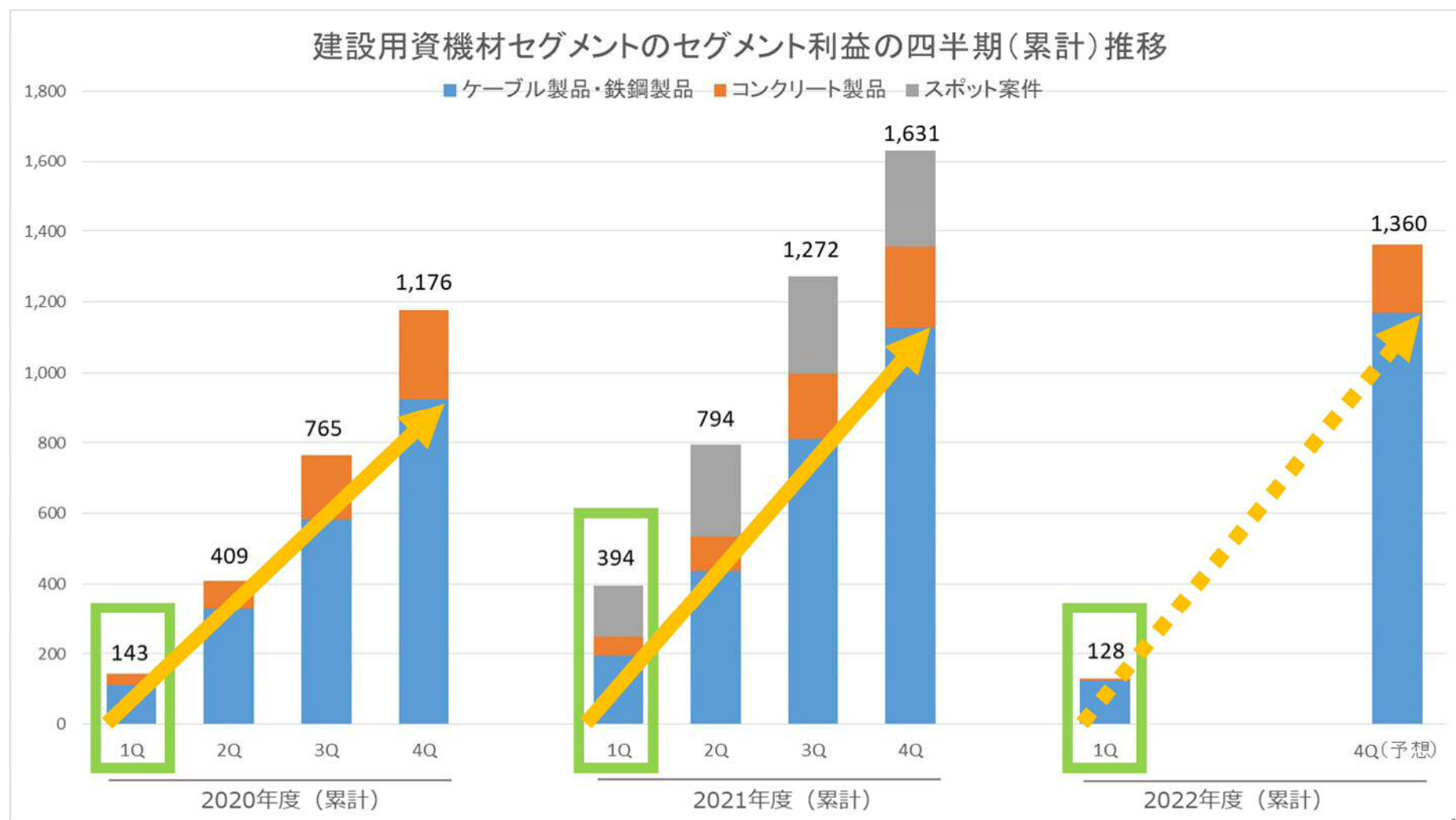
- 上記減収要因による減益
- 移動制限の緩和による販管費の増加

○公表予想比～予想通りの滑り出し

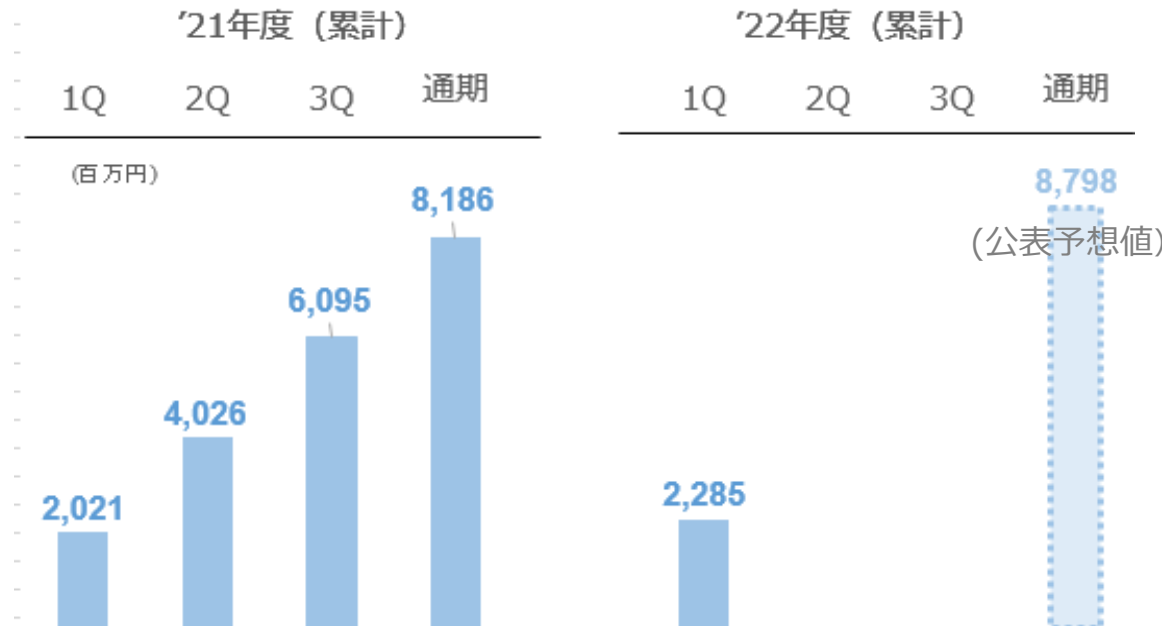
- 海外は依然として低調であるが、国内市場に大きな変化は無し
- 1Qの進捗率は予想の範囲内 (※次頁の解説参照)

主な減益要因と進捗状況の詳細（営業利益増減）

建設用資機材の製造販売事業において、大型かつ高収益のスポット案件及び台風19号災害の終息によるコンクリートブロック分を除外すると、原材料価格の高騰等の不安要因はあるものの主要製品であるケーブル・鉄鋼製品分野は2020年度、2021年度と同程度の伸びを期待できる。



【売上高】



○前年同期比～増収減益

・売上高（前年同期比+13.1%）

- 建築金物分野において、都市開発等をはじめ中小物件が徐々に稼働し回復基調にて推移
- 鉄骨工事分野は、繰越案件も多い中、順調に工事が進捗

【営業利益】

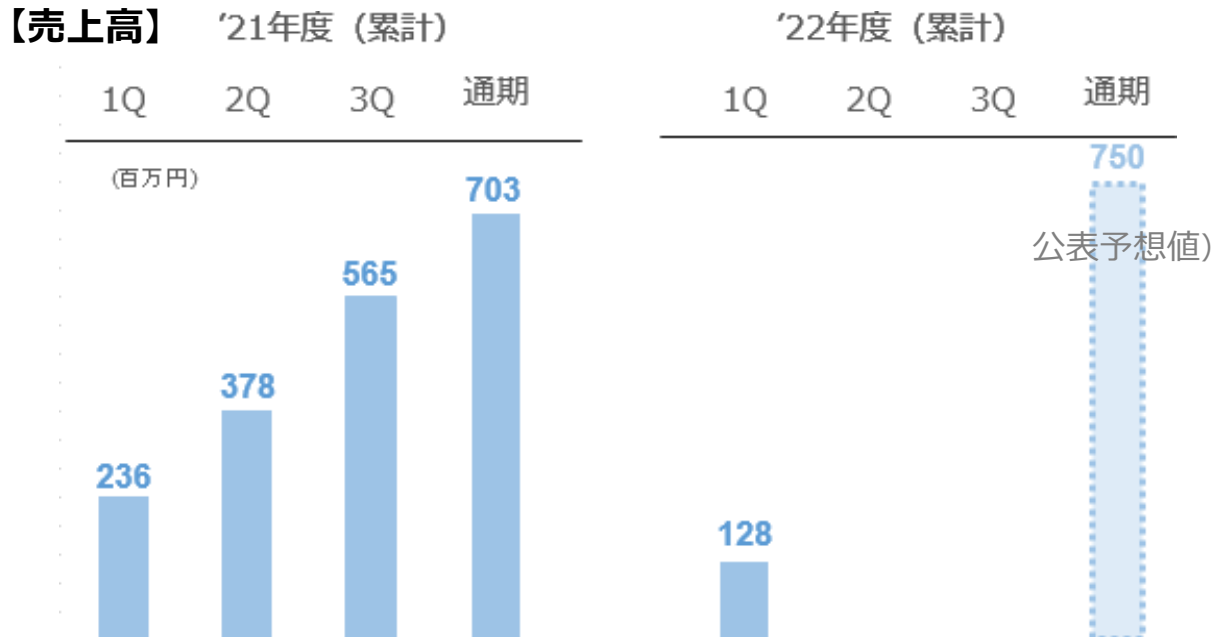


・利益（前年同期比△19.7%）

- 原材料価格の高騰影響等により減益

○公表予想比～比較的順調な滑り出し

- 建築金物分野は価格転嫁を推し進め、鉄骨工事分野は原材料価格上昇分の価格交渉を継続



○前年同期比～減収減益

- ・売上高（前年同期比△45.6%）
- ・利益（前年同期は28百万円の営業利益）
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による現地活動の制限は概ね解除
 - 前期より期初受注残が少なく、1Qでの案件の進捗状況は前年同期比劣後



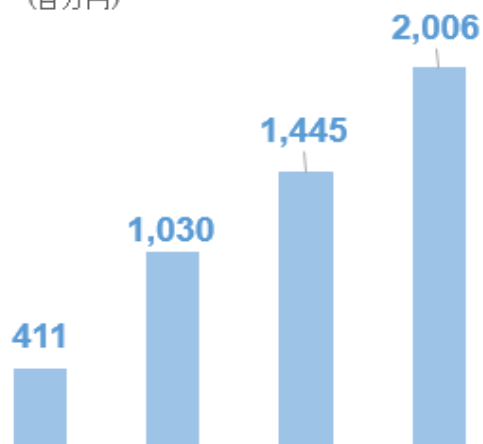
○公表予想比～今後遅れを挽回

- 受注案件の対応を進め1Qの遅れを挽回していく
- JICA及び新規案件の受注拡大を図る

【売上高】 '21年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

(百万円)



'22年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

2,100
(公表予想値)

629

○前年同期比～増収増益

・売上高（前年同期比+53.2%）

・利益（前年同期比+42.6%）

- 前期より期初受注残が多い中で消化が順調に進捗

【営業利益】

(百万円)



■ 営業利益 ● 営業利益率

207
(公表予想値)

● 9.0%

9.9%

○公表予想比～予想通り順調な出だし

- 受注環境は引続き良好で、売上高・利益ともに基本は堅調

- 効率的な配置と期初受注残の確実な消化に注力し、今期受注につなげる
- 2Q以降の今期の受注とその消化状況が鍵

将来見通しに関する記述についての詳細[ご参考]

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

